

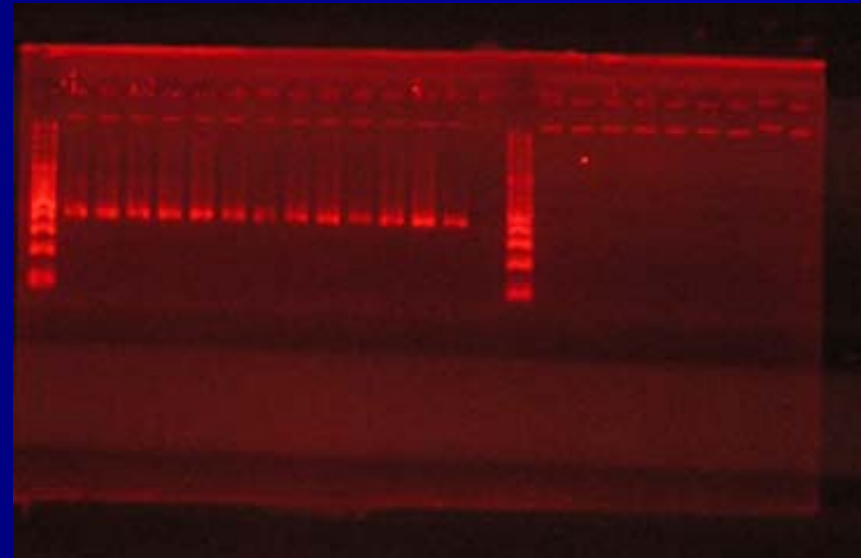
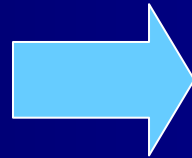
植物生態学研究室

-フィールドと実験室をつなぐ-



植物生態学研究室の特徴(1)

- 野外における植物の適応プロセスを生理生態学的方法やDNA解析をはじめとする分子生物学的方法により解明するアプローチを取っています。



植物生態学研究室の特徴(2)

- 基礎的研究の成果を農業や生態系の保全などに役立てる応用的視点を重視しています。

弘前市在住のリンゴ農家木村秋則氏の行っている自然農法の科学的根拠を解明する研究にも力を入れています。



現在の研究の2大テーマ

- 微生物研究
 - 植物と微生物の生物的相互作用の分子生態学的研究
-
- 植物研究
 - 植物の適応戦略の分子・生理的基盤の解明



最近の研究課題

- 根圏微生物群集構造の生態的機能
- 水田におけるメタン生成菌の動態
- 気候温暖化に対する植物の適応
- ブナ林の内生菌の多様性

実験内容

- 土を使った植物の栽培とシャーレでの微生物の培養
- DNA塩基配列の解析と塩基情報を利用した植物や微生物の変異解析
- リアルタイムPCRによる特定微生物の定量
- 葉の合成速度や環境(温暖化など)ストレス耐性の測定
- 土壌や植物体の無機物質と炭水化物やフェノールなどの有機物質の化学分析

研究室ゼミ

- 3年生は、所属後週1回のゼミがあり、主に英語の教科書を読み、英語の読解力をつけます。
- 4年生、院生は、卒論や修論に関係する最近の英語論文を自分で探し、それをパワーポイントにまとめて15分程度で説明します。論文英語の読解力、理解力、プレゼン力の向上をねらっています。

研究室の構成

- **2009年**: 博士3名 (留学生2名), 修士 2名, 4年生 4名, 3年生 2名
- **2008年**: 博士2名 (留学生1名), 修士2名 (留学生1名), 4年生 3名, 3年生 4名
- **2007年**: 博士2名 (留学生1名), 修士3名 (留学生1名), 4年生 2名, 3年生 3名
- **2006年**: 博士1名 (留学生1名), 修士3名, 4年生 4名, 3年生 2名
- **2005年**: 博士1名 (留学生1名), 修士2名, 4年生 3名, 3年生 4名

卒業生の進路

- 平成20年 大学院2名 就職1名
- 平成19年 大学院1名、 就職1名
- 平成18年 大学院1名、 就職3名
- 平成17年 大学院2名、 就職1名
- 平成16年 大学院2名、 就職2名
- 平成15年 大学院2名、 就職0名
- 平成14年 大学院3名、 就職1名

- 研究室の新しいホームページを来週初めにアップします。詳しくはホームページをご覧ください。
- 来週のコンパの後，研究室で2次会を開きます（森林分野と共同で）。興味のある人は，来てください。